

## 「あなたはわたしのもの」

イザヤ書 43：1-4

本日の礼拝では、新生児祝福の時を持ちました。赤ちゃんはご両親やご家族にとってかけがえのない存在ですが、同時に神さまにとっても深く知られ、愛されている存在です。イザヤ書 43 章で、神さまは「あなたはわたしのもの」と読んでくださっていると語ります。この言葉は、幼子だけでなく、人生のあらゆる歩みの中にいる私たち一人ひとりに向けられた言葉です。

「あなたはわたしのもの」という言葉の前には、「わたしがあなたを造った」という神さまの宣言があります。「あなたはわたしのもの」とは、私たちが支配する言葉ではありません。あなたの命を知り、その存在を喜んでいるという神の愛の言葉です。当時、イスラエルの民は神さまから離れ、国を失い、捕囚の苦しみの中にいました。しかし神さまは、そんな彼らを見捨てることなく「わたしがあなたを造った」と宣言されたのです。私たちも時に神さまを忘れ、信仰が揺らぐことがあります。神さまの方から私たちを手放されることはありません。

さらに神さまは「わたしはあなたの名を呼んだ」と言われます。神さまは私たちを大勢の中の一人としてではなく、ただ一人の「あなた」として知っておられます。人生の中で「誰も自分の苦しみを分かってくれない」という孤独を感じる時にも、神さまは私たちの喜びも悲しみもすべてご存じで、「あなたは一人ではない」と言われるのです。

しかし、神さまに愛されているからといって、苦しみがなくなるわけではありません。聖書は「水の中を通るときも、わたしはあなたと共にいる」と語ります。神さまの守りとは、苦しみに遭わせないことだけではなく、その苦しみの中でも決して私たちを手放さないことです。十字架の主は、私たちの苦しみを遠くから見ておられる方ではありません。そしてキリストを死から復活させられた神は、死を越えてなお私たちを御手に抱いてくださいます。

なぜ神さまはそこまで私たちを愛してくださるのでしょうか。主は「わたしの目にあなたは価高く、貴く、わたしはあなたを愛する」と言われます。神さまは私たちを贖うために、独り子イエス・キリストを与えてくださいました。十字架は、「あなたはわたしの目に貴い」という神の言葉がどれほど真実であるかを示しています。

私たちの価値は、能力や成果によって決まるものではありません。幼い命にも、人生を長く歩んできた命にも、神さまの愛は変わりません。私たちはこの圧倒的な福音を自らの心に深く刻み、「あなたは愛されている」という神さまの愛を次の世代へと手渡してまいりましょう。